



第111号

2014-2015年度 主題

国際会長：Wichian Boonmapajom “Mission with Faith”
 「信念のあるミッション」
 アジア会長：Edward K. W. Ong “Through Love, Serve”
 「愛を持って奉仕しよう」
 東日本区理事：渡辺 隆 「原点に立って、未来へステップ」
 湘南・沖縄部長：今城高之 「一人ひとりが愛と平和の種をまこう！」
 クラブ会長：辻 剛 「初心に帰り、世のため、人のため」
 —喜びと楽しみを求めて—



今月の聖句

『いちばん先になりたい者は、すべての人の後になり、すべての人に仕える者になりなさい』そして、一人の子供の手を取って 彼らの真ん中に立たせ、抱き上げて言われた。『わたしの名のためにこのような子供の一人を受け入れる者は、わたしを受け入れるのである』

マルコ福音書 9:35-37

2015年8月本例会

日時：2015年8月28日 17:30～
 場所：田園都筑教会
 受付：(報告書) 鈴木恭子
 司会：岡田勝美
 第1部本例会 17:30～18:00
 開会点鐘 辻 剛会長
 ワイズソング・信条 一同
 今月の聖句 相賀牧師
 ゲスト・ビジター紹介 司会者
 会長挨拶 辻 剛会長
 連絡・確認事項
 協議事項
 YMCA報告 生井担当主事
 誕生日祝い 13日 林 茂博さん
 24日 田中庸夫さん
 30日 辻 剛さん
 部会準備
 閉会点鐘 辻 剛会長
 第2部 18:00～18:30
 YOU&I コンサート運営委員会
 (辻会長と今城宏子さん出席)
 (クラブメンバーは、BBQ準備)
 第3部 19:00～21:00
 暑気払いBBQ大会
 会費：大人2千円、学生千円、
 中高生5百円、小学生以下無料
 ▶ 出欠(ゲスト・ビジターを含む)
 の連絡を8/26までに!



＜思い出(ノースクラブ)の1ページ＞

久保 勝昭

1987年、入会4年目(83年入会)でノースクラブの会長に指名されました。この年はノースワイズメンズクラブ10周年の記念の年であった。11月8日神奈川県社会福祉会館で10周年記念コンサートを開催。吉村総主事、横浜ワイズメンズクラブ(親クラブ)高杉治興会長よりお祝いのことばを頂いた後クラシック(桐朋音楽大学OB)とブルーグラスミュージック(千葉大OB)による演奏会が行われ盛況の内に10周年を祝うことが出来ました。この時の日本区理事が鈴木功男さん、南東部部長が福島正さんでした。この記念コンサート以前の9月27日「にっぽん丸」船上における日本区初の三部合同部会(北部、南東部、富士山部)では、横浜ノースクラブここにありとの意気を示したバンド演奏は、実に見事で400名に及ぶ参加者全員に大きな感動を与えました。と福島部長よりお褒めの言葉を頂きました。

ここでノースバンドを結成した経緯に触れてみたいと思います。1961年、アメリカの医学者、ハルバート・ダンによって提唱され、広い意味で健康的に日々の暮らしを送る事を目的として、またYMCAも推奨していたウエルネスの言葉のもと、我がノースクラブも何か出来ないかと考え、結果1984年にノースバンドを結成する事となった。楽器を演奏し歌を唱うことがウエルネスの目的とする「積極的な健康づくり、生活を見直し快適な人生を送る事」に非常に効果があると思われたからである。しかし経験者は二人だけで、また四十の手習いという事もあって、その効果も目的に達するまでには、ほど遠いと感じたことも何回かありました。しかしメンバーの熱意と周囲の励ましによってレパートリーも10数曲ほどになり発表の場も3回ほど与えられた事もクラブライフの楽しい1ページになりました。

しかしこの年は私にとって最大の不幸のはじまりでした。夜中12:00ごろ発生した類焼によって我が家が全焼してしまった事を忘れることが出来ません。この日は結成したばかりのノースバンドの練習日で、熱が入り12:15分ごろまで練習していたことを覚えていました。練習場所が近く、歩いて家に戻ったのですが、我が家の裏(造船所が倒産して無人)で火災がおきていたなんて疑う余地もありませんでした。翌日からクラブのメンバー、親戚、近隣、会社関係、学校、YMCAから多くの人が火事見舞いに来て下さり、感謝で涙がとまりませんでした。その後親戚が経営していた工場内の空部屋を借り、一年ほどは焼け跡の整理、家の建築設計の打ち合わせ等に追われ忙しい日々を過ごしていたのでバンドの練習はしていなかった様におもいます。85年12月にはれて新築した家に入ることが出来、多くの皆さんの支えに感謝でした。その後バンドの練習も我が家で何回か行い日本丸の演奏に間に合う事が出来、感激の1ページになりました。

前月データ

| | | | | | | |
|------|-----|--------|-----|--------|-------|-------|
| 例会出席 | 16名 | 在籍会員数 | 18名 | 各種記録 | 前月 | 累計 |
| メンバー | 15名 | 月間出席数 | 16名 | 使用済み切手 | 30g | 100g |
| ビジター | 1名 | メーキャップ | 1名 | プルタブ | 1.0kg | 4.0kg |
| ゲスト | 0名 | 月間出席率 | 88% | スマイル | | |

<7月本例会報告>

日時：2015年7月24日(金)18:30~20:30

会場：かけはし都筑

出席者：今城T・H、岡崎、岡田K・M、久保、鈴木S・K、

田中、辻(Ts)、生井、林S・M、福島、横田

ビジター：佐藤節子さん(厚木クラブ)

司会：久保勝昭、受付：岡田勝美

鈴木直前会長の開会点鐘・ワイズソング・信条に続いて、相賀チャプレンが欠席のため林(S)による「今月の聖句」の代読と祈祷がありました。

続いて会長引き継ぎ・就任式がクラブ役員も含めて今城湘南・沖縄部長・佐藤節子地域奉仕事業主査の立会いの下で行われました。

次第通りの挨拶の後、スマイルを行いました。時間節約のため、ひと言スピーチは後にまわして袋だけが回りました。

次にクラブ総会が始まりました。



第1号より第5号議案までです。資料として「2015-16年度 横浜つづきクラブワークブック」また議案それぞれの資料が用意されました。

順調に審議・承認されましたが、5号議案(予算案)で意見が出ました。

「YMCAチャリランを2チームから1チームに減らすのは如何なものか?」

結論として「この予算案で一旦承認し、後日今日出た意見を反映して修正する」として承認されました。

○各種報告・アピール

- (1) BBQ例会(8/28)の件
- (2) YOU&Iコンサートの件
- (3) 映画「うまれる」の自主上映の件
- (4) YMCA報告

以上は時間の都合で詳しくアピール出来ませんでした。後日改めて、またブリテン7月号を参照となりました。

○ハッピーバースデー：岡田M(7/11)今城T(7/31)

歌とプレゼントで祝福されました。

閉会点鐘の後は「ピッツア サルヴァトーレ」にて賑やかな懇親食事会となりました。

新しく始まった「マーシャル制度」で7月担当ワイズが例会の進行・懇親会の準備などに頑張りました。

(岡田 勝美 記)

<8月BBQ例会役割分担>

お詫びと訂正

ブリテン7月号の予告で、本例会日を8月21日(金)と掲載しましたが、8月28日(金)の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

◇ 開催日時：2015年8月28日(金)17時30分から

◇ 本例会：17:30~18:00

◇ YOU & I コンサート運営委員会 18:00~18:30

◇ BBQ夕食会：19:00~21:00

◇ 会費：大人2千円、学生千円、中高生5百円、小学生以下無料

当日の準備・役割分担

マーシャル：岡田勝美、林 理子

14:00 食材調達：今城H、岡崎、福島

14:30 麦茶・食器準備：岡田M、林M

15:00 食材下準備：今城H、岡崎、福島、岡田M、林M

16:00 外会場設営：岡田K、林S、今城T、鈴木S

17:00 飲料調達：横田(ノンアルコール飲料含む)

17:30 本例会

受付(報告)：鈴木K 司会：岡田K

18:00 YOU & I コンサート運営委員会

事務局：今城宏子

火床準備：林S

会費受付：鈴木S

19:00 食前感謝：相賀チャプレン

乾杯：辻会長

焼き奉行：辻、林S、今城T、横田(交代制)

来客接遇：今城H、鈴木K、林M

21:00 閉会・後片付け：全員で行う。

リーダー：林S

◇ クラブメンバーで当日不参加の方は、8月26日までにマーシャルへご連絡ください。

◇ ご家族、知人などをご帯同される場合は、あらかじめ人数・大人/子どもの別などを、8月26日までにマーシャルへご連絡ください。

◇ YOU & I コンサート運営委員はご招待します。連絡担当者は8月26日までに関係者の出席者数をマーシャルへご連絡ください。

➤ みんなの家⇒今城H

➤ アーモンド⇒林M

➤ 脳外傷友の会ナナ⇒鈴木K

➤ アスタPC⇒林S

➤ 北YMCA⇒生井

一番お誘いしやすい例会ですので、ぜひ友人・知人にお声をかけて、会員増強の機会としてください。



＜山元町訪問報告＞

7月16日に昨年9月以来10か月ぶりの山元町訪問ができました。インフルエンザ予防のための面会制限が4月末まで続き、6月に訪問を計画したところ、すでに地元のボランティアグループの訪問が決まっており、やっと実現した機会に、今回も東京武蔵野多摩クラブの石丸さんが応援に参加してくださいました。石丸さんは、大宮から同じはやぶさ38号に乗車する予定でしたが、手違いで9:30仙台着となってしまいました。その上、レンタカーの待ち合わせ場所への移動に手間取り、出発時間が大幅に遅れ、みやま荘への到着がおくれてしまいました。

みやま荘では、仙台青葉城クラブの清水弘一さんが、カラオケの熱唱で時間つなぎをしてくださりました。

早速7月に誕生日を迎えた5名の方々に、手作りカードをプレゼントして、プログラムを進めました。



まずは「リズム遊び」でアイスブレイク。10か月ぶりの訪問で、お顔なじみの方々に新しい入居者の方も加わり、被災地での高齢者介護の必要性と運営の大変さを肌で感じる事ができました。



続いては「おかしな手品」の出番です。当日朝6時に自宅を出る間際まで「タネ本」を読んでいた演者は、実技を練習する暇もなかったことを知っている私は、ハラハラドキドキで見えていましたが、マジックといっても言葉で巧みにごまかすような実演でした。

昼食時間の関係で、11:30終了予定を守るため、最後のプログラムは、みなさんと演歌・民謡のカラオケ大合唱でお開きとなりました。

昼食時間を利用して原町教会を訪問する予定でしたが、ご家族の急病で訪問は取りやめとなり、食後は互理から山元町の海岸近くの復興状況を車で見て回りました。土地のかさ上げ工事のダンプカーばかり目につきました

生活感が失われたままで、復興の道はなお遠いこと実感しました。

15時から、町立南保育所の誕生会に参加しました。保育所のスタッフの方や保護者の方々からも、来訪を心待ちにされていたという石丸さんのリードで、子どもたちが輝きました。

まずは誕生祝いのセレモニーで誕生カードの贈呈。後は、時間いっぱいリズムをみんなで楽しみました。



今回は、仙台Y東日本大震災支援対策室 副室長の斎藤 勉さんが最後まで、仙台青葉城クラブの清水弘一さんがみやま荘のプログラムに参加してくださいさり、地元との協働プログラムを盛り立ててくださいました。

(林 理子 記)

＜コンサートの案内が出来ました＞

第5回 You&I コンサート

あなたとわたし 障がい児・者とともに～

2015年10月3日(土)
13:00開場 14:00開演

都筑公会堂 都筑区合同庁舎
横浜市営地下鉄センター駅徒歩5分

出演：横浜室内合唱団・歌劇団
曲目：ストラビンスキー「イタリヤ歌曲より」
コレリ/ラフマニア
カッチーニ「アベマリア」
小若優や/歌劇「組曲」他

チケット
障がい児・者 500円(付添いなし無料)
一般(中学生以上) 1000円
小学生 500円
未成年児 無料
(予約申し込み先)
横浜北YMCA You&Iコンサート窓口
Tel: 045-433-4321

※催し内容等に変更があります。
※お車でご来場の際は、障害者手帳等をご提示されることと駐車料金が別途となります。

2015-2016年度

＜湘南・沖縄部 第1回役員会・評議会報告＞

今城部長のスタートをきる大切な第1回役員会・評議会が7月25日(土)13:00から横浜中央YMCAで開催されました。部則・施行細則に忠実に準拠した内容を目指して、招集通知も2週間前に送り、欠席者からの委任状も整えての開催でした。

台風の襲来で、沖縄那覇クラブの屋良会長が急遽欠席となりましたが、議決権者20名の出席と委任状15を以て評議会も成立し、役員会では(13:30~14:30)

➤ 東日本区役員会報告から

第1号議案 次年度の部会ホストクラブと日程に関する件

第2号議案 部行事予定に関する件

第3号議案 部報及び部長通信の編集に関する件

がいずれも可決承認されました。

➤ 第4号議案 部会及び部全体行事の準備に関する件については、新たな委員会を設けず、役員会で部全体行事を担う事が承認されました。

15時から評議会に移り、開会セレモニーに続いて各クラブ会長から、自クラブ役員と活動紹介がありました。

議案審議では、第1号議案から第5号議案まで可決承認され、第6号議案の部会実行委員会に関する件は、役員会で新規に委員会は組織しないと決定されたので、議案は取り下げられました。

その他連絡事項として、部長沖縄公式訪問の日程と、それに伴う次回評議会を2016年1月30日(土)10:00から開催することが発表されました。

加藤利榮監事から、次のような講評をいただきました。

◇ 今期第1回ということもあり、肩に力が入った会合・雰囲気になるかと思われたが、予想に反し今城部長を始めとする執行部のスキルが発揮され、その思いは結果的には単なる杞憂にすぎないことが証明された。

◇ 講評、以下のとおり。

- ① 評議会は、当日を含め年3回のみでの会合であることから、実のある協議と、役員会開催の一層の活用・運用が望まれる。
- ② 十分保存に耐え得る「ワークブック」の配付は、議事内容の理解と促進に、引いては今期部活動に寄与する資料となろう。
- ③ 「出席者紹介」では、併せてクラブごとの活動報告も兼ねた「クラブ単位・代表が一括」方式が奏功した。
- ④ 従来、部事業主査の事業方針やその活動内容が評価されにくい一面がみられたが、今期はしっかりとそれぞれの目標に向けた活動・報告及びその結果に注目したい。
- ⑤ 沖縄への部長公式訪問に関し、更に有効適切なプログラムを展開すべく、現地受入れ側の意見・希望等も聴取・参考にしながら 執行部と協議していきたい。


最後にYMCAの歌を元気よく歌い、今城部長の閉会点鐘をもって、予定通りの時間で終了しました。

閉会后に集合写真を撮影し、「唐家村」に会場を移して懇親会を行いました。飲み放題制限時間2時間をフルに使って、大いに語り合い、交流を深めて、2015-2016年度湘南・沖縄部に良き船出となりました。

(部書記 林 茂博 記)




＜部会は9月26日です＞



ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区

**第19回湘南・沖縄部
部会のご案内**



◇ 開催日時 2015年9月26日(土)
(受付) 15:30~
(部会) 16:00~17:45
(懇親会) 18:00~20:00

◇ 場所 ワークピア横浜
横浜市中区山下町 24-1
Tel: 045-664-5252
<http://www.workpia.or.jp/>

◇ 主題 「一人ひとりが愛と平和の種をまこう！」

◇ 会費 6,000円

【部会・記念講演会】
「ボランティア活動の勤めと喜び」
横浜YMCA 常議員・清泉女学院ボランティアセンター長
岡戸良子氏

【トピックス】 部会の種。事業別にグループディスカッションを行う予定です。ご関心のグループにご参加ください。

【トピックス】 懇親会の種。ご希望のクラブにはアビールや出し物の時間を設けます。クラブ自費や、ご案内。また、楽しい出し物などで会を賑わせてください。(7~8分程度)

✓ 参加者はクラブ毎に取りまとめていただき、2015年9月15日までに、別添の用紙にてお申し込み下さい。

✓ 友人・知人など、クラブメンバー以外の方もお問い合わせでご参加ください。

✓ 当日、クラブバナーを必ずご持参ください。

今城部長を支える最大イベントは、「部会」です。ホストクラブとして、知恵を絞り汗を流して部会を盛り上げましょう。消費税の影響もあり、会場の諸経費が値上がりしたため、会費は6千円となりましたが、ご理解いただき、全員の参加登録はもとより、家族・友人・知人を同伴してご出席ください。(林S 記)

＜第26回アジア地域大会番外編報告＞

日時：2015年7月31日（金）～8月2日（日）
 会場：ウェスティン都ホテル京都
 つづきクラブからの参加者：辻 剛、林 茂博、鈴木 茂
 （全体の参加者 914名）



京都で開催された第26回アジア地域大会に辻 剛さん、林 茂博さんとともに参加した。今大会は、国際大会開催の経験も持つ在京都諸クラブが中心となって開催した大会だけあり、よく準備された立派な大会という印象を受けた。



特に印象に残ったプログラムは、宇宙飛行士・毛利 衛さんによる「宇宙からの贈り物」と題する基調講演であった。「宇宙から見た地球に国境はない」という名言は大変有名になったが、改めてご本人の口から直に伺うと、地球上の各地でいまだに戦禍の絶えない世界の現状に対し、人類の責任が厳しく問われているとの思いを強くさせられた。

もう一つ、宇宙から見た地球の姿に関し、米・欧・ロシア出身の同僚宇宙飛行士は一緒に「絶対的な創造主の存在を実感する」とキリスト教的な感想を述べたのに対し、毛利さんはむしろ「地球とそこに生存する全ての生き物は、相互に“つながり”をもつ相対的な関係にある」との思いを新たにしたいとの感想を述べておられた。人間も地球環境の恩恵を受けて生存する生物の一部に過ぎず、温暖化ガスや放射線等による地球環境の破壊は許されないことだ、と毛利さんが熱心に訴えておられる姿が印象に残った。



（初日の晩餐会で沖縄・横浜・厚木・熱海のみなさんと）

後列右から4人が沖縄クラブのメンバー、5人目は栗本次々期東日本区理事、中腰の婦人と6人目は熱海クラブ青木元富士山部長夫妻。中央は本物の芸妓さん！京都らしい、舞妓さん芸妓さんで和の「おもてなし」。

番外編の写真を、こっそり紹介・・・



さて、最終日の8月2日（日）は午前中にプログラムが終了し、午後は半日京都見物をして帰ろうということになり、参加者を募ったところ辻 剛さんと厚木クラブから参加された佐藤節子さん、千葉裕子さん、徳澤洋子さん、田中勝子さん、森田智恵子さん、それに仙台クラブの今澤智代さんが加わって下さった。太秦の映画撮影所を見物したいという林 茂博さんには、振られてしまった。われわれ8名は、京都駅で手荷物を預けてから出かけようということで、まず京都駅に戻り手荷物ロッカーを探した。驚いたことに空いているロッカーはほとんどなく、ロッカー探しに大変手間取ってしまった。京都駅八条口には東京駅でも見たことのないほど多数のロッカーが設置されているにも拘わらず、これほどの盛況であることは、観光都市京都の健在ぶりに改めて感心させられた。

地下鉄、阪急電車と乗り換えて私たちは「四条河原町」に出た。そこから八坂神社を目指して散策を開始。四条通りと花見小路との角に彼の有名な「一力亭」がある。このあたり一帯が京都を代表する花街「祇園」である。忠臣蔵の大石内蔵助に思いを馳せながら、その豪壮な外観を見て回る。「一見さん御断り」の超一流お茶屋さんである。ここで食事ということは叶わない。ここから、お茶屋街発祥の地と言われる「新橋通」に出て、「重要伝統的建造物群保存地区」の指定を受けた祇園街の往年の風情を鑑賞した。

この日、京都は38℃という猛暑である。炎天下を歩き続け、私たちはややバテ気味になってしまった。八坂神社へ行くことは諦め、近くのコンビニで購入したアイスキャンディーで体を内部から冷やし、さらに喫茶店に入って冷たい飲み物で体の調子を整えたいうで、京都駅に戻ることにした。帰路の途中、鴨川べりの「先斗町通」を覗き、「新京極通」から京都の台所と言われる「錦市場」に出て、買い物かごでブラ歩きをする。ここで京野菜の漬物などのお土産を購入。「錦市場」から近くの地下鉄「四条烏丸駅」を経て、無事京都駅に戻ることができた。



参加された皆さんからは、お世辞にせよ楽しかったと言われたものの、炎天下、京都の市街地を1時間余も歩き回る計画を実行したことは、非常識の誹りをまぬがれないと、今になって痛く反省している次第である。（鈴木 茂 記）

<第22回 AIDS 文化フォーラム in 横浜に参加して>



去る8月7-9日の日程で、第22回 AIDS 文化フォーラム in Yokohama が神奈川県民センターで開催されました。今回は「今こそ、共に生きる」をテーマに掲げ、初日冒頭のオープニングセッションに引き続き、3日間で44の平行セッションが行われ、入場者数が3701名に上る盛況ぶりでした。横浜から発信されたこのうねりは、今や、京都、陸前

高田、佐賀の各地で開催されるに至っています。

開会挨拶の中で田口 努横浜 YMCA 総主事も述べられたとおり、このイベントが素晴らしいのは、「文化フォーラム」を標榜したことであり、AIDS という疾病を話題にするに止まらず、人間やその社会をテーマにしたことだと感じました。AIDS は今や、必ずしも死に至る病ではなくなりました。しかし、感染者は、死の恐怖から完全に解放されたわけではなく、かつ、如何に社会生活を営むか、周囲の人たちと関わりを持つかという深刻な問題に直面しておられます。AIDS の主たる感染経路が性的交渉であることから、性の問題、特に性的マイノリティー問題も切り離せません。こうした、色々な「問題」が渦巻く中で、これまでも言われてきた、当事者と「共に生きる」ことが実践されているのか、ということが、今正に我々に投げかけられた課題だという問題意識が今回のフォーラムだと感じました。



(開会式で組織委員として挨拶する今城高之さん)

私は、時間の制約と今回は組織委員会委員であったことから、オープニングの他、4つのセッションしか聴講できなかったのですが、一貫して語られたのは「今こそ」共に生きることが必要だというメッセージであり、それは、医療問題ではなく、人と人のつながりなのだということでした。

今回のフォーラムはまた、AIDS に感染していたり、性

的な問題を抱えている人が自分自身のすぐ周りにもいるかもしれない中、そういう方々と「共に生きる」準備が自分にはできているのか自問する機会を与えてくれたと思います。

スピーカーの多くは「当事者」であり、それぞれが過去に自分自身の存在を否定しようとした経験を持っておられました。一人で悩み、苦しまれたそうです。そういう人々が近くにいることが分かった時、目をそらせるのではなく、何か役に立てるかを考え、それを実行する、それが「ともに生きる」ことであり、我々ワイズが標榜する「弱者に寄り添う」ことなのではないでしょうか。

本当に意義ある暑い夏の2日間でした。また、問題を抱えつつも、勇敢に人生を送ってられる「当事者」の皆さんとお目にかかり、直接お話を伺うことができたことは、本当に意義ある機会であったと感謝しています。

(今城 T 記)

追記：オープニングに参加したのは、今城 T、岡田 K&M、鈴木 K&S、林 M&S の7名でした。この他にも会期中プログラムに参加された方もおられると思います。

<リレー・エッセイ>その1 「スローライフを楽しむ」

スローライフとは【日々の暮らしの歩調を少し緩めて、心豊かに暮らそう】という考え方でそうです。私たち日本人は、高度成長期に＜早く、強く、大きく、画一的なもの＞を求めて走ってきましたが、そんな時代を経て【心の豊かさ】の大切さに気付きました。

スローライフとは、物質的な豊かさとは別の【もう一つの物差しを持つ暮らし】と言い換える事もできます。ファーストフードを食べる事も、お惣菜を買う事もあるけれど、台所には自分で漬けた梅干し、手づくり味噌、らっきょう漬、ぬか漬けなどがある。というように、多様な選択肢があることが大切なのだそうです。

【ファースト】と【スロー】のバランスを取りながら、【スローフード】のある【スローライフ】を心掛けたいと思います。

携帯やスマホが手放せなくなっている昨今、たまには、砂時計をひっくり返して【スロー】な時を過ごしたいと思っていますが、最近はずっと早く歩こう、と思っても体が動いてくれず、文字通り【スロー】な日々？になりつつあります。

日常生活で圧倒的に多くを占める【ファースト】な要素を【スロー】で薄め、心身のバランスを取りながら【スローライフ】を楽しみたいと思っています。

(岡崎 さよ子 記)



＜東京町田 YMCA25 周年記念会 & 東京まちだクラブ・東京コスモスクラブ 合同例会 に出席して＞

日時：2015年8月10日（月）18:00～20:30

会場：町田市民フォーラム

出席者：東新部から8クラブ、関東東部から2クラブ、湘南・沖縄部からつづきクラブ、厚木クラブ、ゲストの方を含め合計52名。



・今年度は、つづきクラブの創立10周年にあたることもあり、スポンサークラブである東京コスモスクラブに日頃の不義理をお詫びがてら合同例会に出席させていただくつもりでしたが、いろいろなことを学ばせて頂き大変有意義でした。当クラブからは、私の他、林茂博・理子ご夫妻、鈴木茂さんが出席。林さん達は里帰り訪問です。（お二人は、つづきクラブの前に5年間コスモスクラブのメンバーでした）。

・出席する前は、「記念会」と「合同例会」の関係もいまいちよくわからなかったのですが、いろいろお話をお聞きして納得がいきました。つまり、今回の記念会は両クラブがホストクラブとなり、両クラブが実質的に支えている町田YMCAの25周年記念をお祝いしたのです。

【第1部】東京町田YMCA25周年記念会

1990年に東京町田YMCAが設立され、1年後に東京まちだクラブ、1996年に東京コスモスクラブが設立されました。その後、町田Yはスタッフレス・オフィスレスになりましたが、両クラブによってプログラムは継続され今日に至っています。従って、町田で展開されているYMCA運動は、若者に話題がいきがちの中、シニアが地元奉仕にしっかり取り組んでいる新しい運動体として注目すべきものと云えます。ハコモノをベースとした事業の展開でなく、ソフト中心の運動は我々にも暗示的であります。

【第2部】まちだクラブ・コスモスクラブ合同例会

・記念講演は、元国際会長・藤井寛敏さん（東京江東クラブ）が、「グローバルな視点・ローカルな活動」と題して、ワイズ活動が国際的にどのように行われているのか、また、地域での活動にどのようにつながっているのか、というような切り口でお話がありました。国際協会の中でアジアの存在感が増していることから、「アジア・オペレーションセンター」が来年からバンコクに設置されることが国際議会で原則的に承認されたとのことでした。
・印象的だったのは、両クラブが中心になって新クラブ、

「多摩センタークラブ」の設立に向けて精力的に取り組んでいるとの報告があったことです。既に、拡大設立準備委員会の設立も決まり、新クラブの会員候補も現在14名がリストアップされているそうです。東日本区の会員減少傾向に歯止めがかからない中、新クラブ設立はもっとも効果的な対策です。ぜひ実現することをお祈りしていますが、多摩地域にお知り合いのYMCA関係者、YMCA理解者がいらっしゃいましたらコスモスクラブの伊藤幾夫さんにご紹介下さい。

・新年度に入り7月、8月、多くのクラブ訪問をさせていただいております。親睦を深めると共に予想以上に各クラブからさまざまなことを学ばせていただいております。つくづく“井の中の蛙”になってはいけないと感じているところです。
(辻 剛 記)

部長キャビネット活動記録

- 7月16日 山元町・仙台青葉城クラブ訪問
- 7月18日 金沢八景クラブ公式訪問
- 7月22日 三役打合せ、厚木クラブ公式訪問。
- 7月24日 横浜つづきクラブ公式訪問
- 7月25日 第1回役員会・評議会
- 7月30日 三役打合せ
- 7月31日 部会プログラム案発信
- 8月03日 部会会場見積もり打合せ
- 8月06日 三役打合せ
- 8月08日 部会案内送信
- 8月07日 AIDS文化フォーラム in 横浜参加
- 8月14日 部費等請求書を各クラブ会長へ発送

会費納入のお願い

新年度となりましたので、前期の会費を下記口座にご送金ください。

横浜銀行 菊名支店（店番号395）

（普通口座） 1330228

名義：横浜つづきワイズメン&ウィメンズクラブ

9月例会予告

9月本例会は、卓話者に東京武蔵野多摩クラブの会長宮内友哉さんをお招きしています。東京武蔵野多摩クラブはIBCの香港Tsim Sha Tsuiクラブと協力してモンゴルにウランバートルクラブを誕生させました。宮内さんは、その設立に中心的な役割を担われました。いろいろな苦労話やモンゴルでの体験談をお聞きする貴重な機会です。友人・知人をお誘いの上、ご参加ください。

本例会：9月25日（金）18:30～20:30

例会場：かけはし都筑

9月事務例会は、9月8日（火）18:30から田園都筑教会で行います。9月26日の部会・10月3日の「Y O U & I コンサート」に向けて、詳細な準備打合せを行います。

<8月横浜北YMCAだより>

今年も暑い夏が続いていますが横浜北YMCAには、1,400名の子ども達が、キャンプに、プールに、体操に、そしてサマースクールにと、本当に多くの方々、様々なプログラムに参加してくれています。この夏も、子ども達の元気な声が聞こえています。8月6日には、キッズクラブ合同のカロム大会も開催され、菊名キッズクラブが見事初優勝をすることができました。参加したチームのメンバーのがんばりはもちろんですが、キッズクラブのみんなで勝ち取った勝利でもありました。さらに8月後半には、サッカーや水泳のYMCA全国大会、トライアングルクラスのお友達がチャレンジする富士登山キャンプも実施されます。YMCAの夏は、まだまだ続きます。応援よろしくお願いたします。



夏のこの時期は、会館の清掃、補修、点検の期間でもあります。8月9日は、プール、スタジオなどをリーダー皆で大掃除を行いました。いつもは、泳いでいる子ども達と保護者の方もプール掃除の手伝いに来てくれ、大掃除も楽しくなりました。また、日頃の感謝として地域清掃も行いました。

掃除のあとは、みんなでそうめんを食べ、交流の時も持ちました。さらに、この日は午後からリーダー感謝会としてスポーツセンターで元気に汗をかきました。遠くは、広島で就職し先生なったリーダーも駆けつけてくれるなど40名もの方が北YMCAリーダー感謝会にホームカミングデーのように集まってくれました。



施設の改修では、会館の照明がほぼすべてLEDに交換されました。プールの照明も専用のLED照明に変わり、少し明るくなった感じがします。目に優しい角度にも調整してあります。その他、部分的な補修を終えて8月16日から後半プログラムが始まります。今までも、そしてこれからもYMCAが実施していく活動、伝えていく言葉、大切に作る人とのつながり、守るべき一人ひとり(すべて)の生命を大切に、確かな歩みで進んでいきたいと思えます。みなさんのつながりに感謝を覚えた夏でした。

《横浜北YMCA9月の主な行事》

- | | |
|-----------|-----------------------------|
| 9月 8日(火) | うたごえ広場 |
| 9月19日(土) | 北YMCA運営委員会 |
| 9月23日(休日) | 会員スポーツ大会、ジュニア&マスターズ水泳大会 |
| 9月19日~23日 | いわき支援プロジェクトキャンプ in 三浦ふれあいの村 |

横浜北YMCA館長 生井 知三

